

貧酸素水塊速報 (2008年)

【発行】○ 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 【協力】○ 神奈川県水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会
 千葉県環境研究センター 東京都環境局
 第三管区海上保安本部 ○ 千葉灯標モニタリングポスト
 国立環境研究所
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

平成20年9月1日観測結果

貧酸素水塊は、内湾西部(川崎～浦安地先)にシフトしており、東部(船橋～富津地先)に貧酸素水塊は見られませんでした(図1)。縦断ラインでは、8月18日よりDO1.0ml/L以下の水塊の分布が減少していました(図2)。このため、貧酸素水塊の規模は縮小し、ほぼ例年並みでした(図3)。

8月22～28日に船橋～千葉市地先で青潮が確認されました(千葉県水質保全課より)。この青潮に伴い底層に分布していた貧酸素水塊が表層に湧昇したこともあり、底層の貧酸素水塊の規模は先月より多少縮小しました。しかし、まだ海底付近には貧酸素水塊が分布しています。風向き次第では千葉側の浅瀬に波及する恐れがありますので、引き続き注意が必要です。

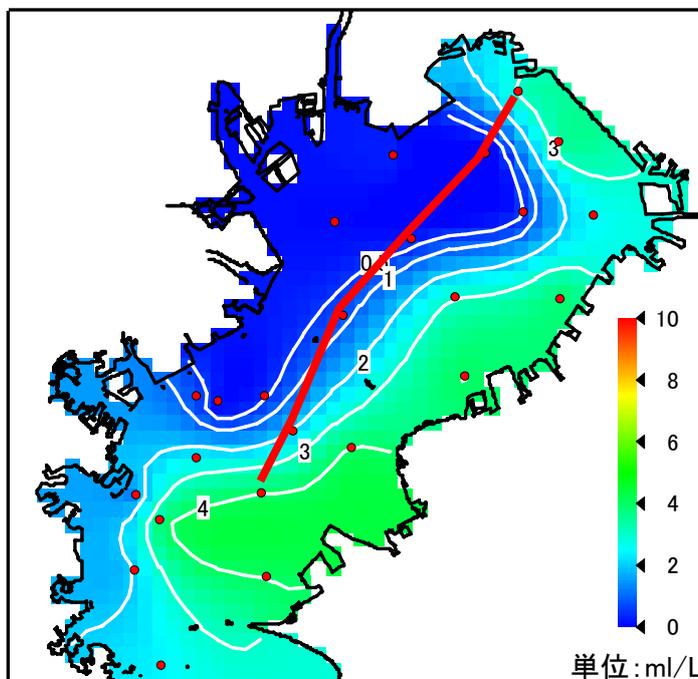


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

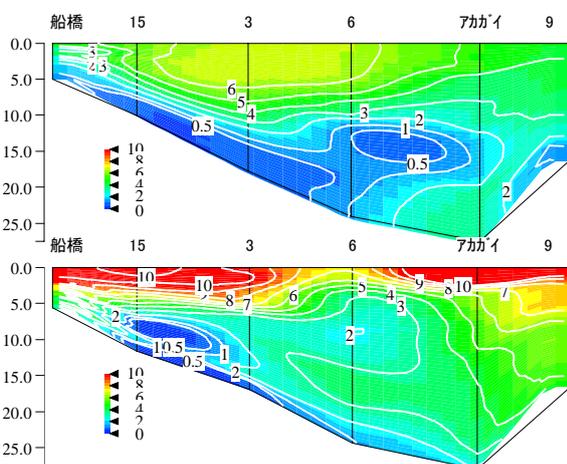


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布
(上:8月18日, 下:9月1日)

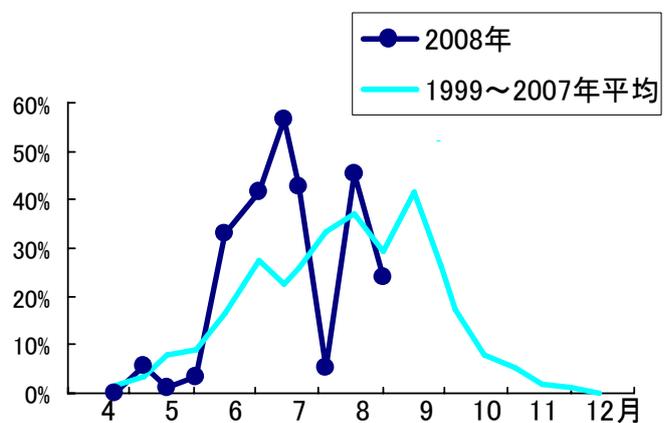


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)